

畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地 1

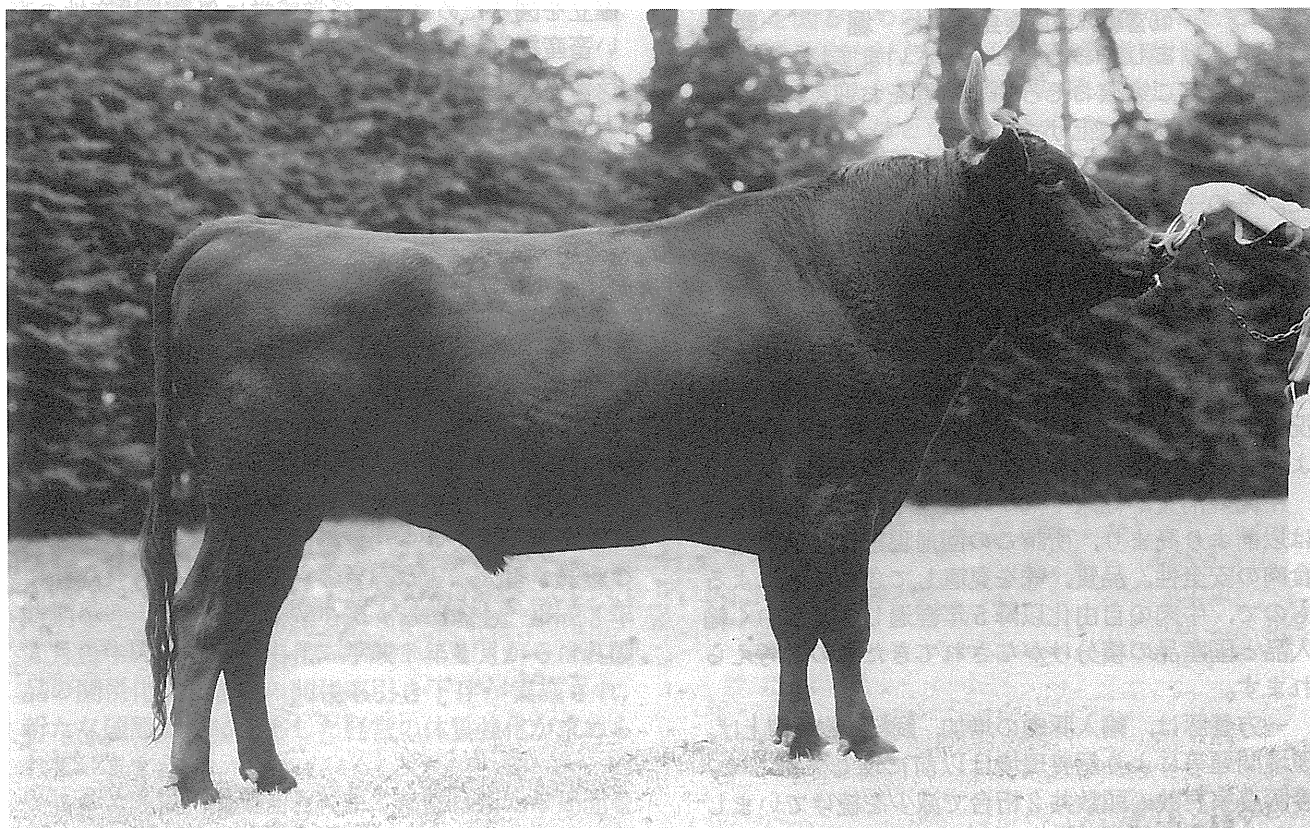
法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 (株)東北プリント



茂宗号 (宮城県畜産試験場繋養)

も く じ

会長年頭挨拶	2
年頭のごあいさつ	3
優秀農林水産業者の表彰について	4
平成8年度宮城県農業コンクール	
地域農業賞受賞者の概要	4
盛会!!みやぎの環境保全型農業を	
考えるシンポジウム	5
第5回「仙台牛の集い」開催報告	6
第11回ヘルシーセミナーの開催について	7
「畜産学部卒業論文発表会」開催報告	7
豚の低蛋白質飼料給与による	
糞尿中窒素低減化試験	8
豚のサルモネラ症	9
抱負	9
賀春	10

会長年頭挨拶



宮城県畜産会会長 大堀 哲

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族おそろいで新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年は畜産界にとっては誠に多難な年でありました。その一つは、昨年3月～4月にかけて英国で発生した狂牛病問題、そして7月以降に発生した病原性大腸菌O-157による食中毒騒動であります。

狂牛病特にO-157の影響は、牛肉及び内蔵等の消費に大きな打撃を受けました。消費量は大巾に減少し牛枝肉価格が下落、肥育農家は極めて厳しい状況におかれましたが、O-157の終息により昨年末より牛枝肉価格は除々に回復しております。

牛肉の消費が輸入牛肉から国産牛肉へとその需要は以前より高まり、所謂この回帰現象は、消費者が食肉の安全性、品質、味を見直してきたことによるもので、牛肉の自由化以降5年経過し、ようやく輸入品と国産品の棲分けがなされてきたものと考えられます。

一方養豚は、輸入豚肉の増加、飼料穀物の値上げ、環境問題等により飼養環境は以前に増して厳しく、養豚農家戸数、頭数共2桁台で減少を続けていましたが、平成8年は1桁台となり国内生産の減少巾に落ち着きの感が見られます。

その背景には、セーフガードの発動により安定した豚枝肉価格とO-157による牛肉から豚肉へのシフト移動が見られたため、養豚経営にとっては正に追い風となりました。

しかし、UR農業合意による基準輸入価格の引き下げ、食肉の衛生管理、生産基盤の拡充強化、食肉の品質向上、環境保全対策等畜産を取り巻く環境は数多くの問題を抱えており、今後共厳しい状況にあ

ることに違いありません。

また、我が国の農業が世界の農業市場と競争するためには、生産の向上とコストの引き下げが課題とされていますが、狂牛病やO-157問題でも見られるように食料の安全性が大きく取り上げられ、その生産の在り方について消費者は非常に高い関心を示しておることも見逃せません。

この様な状況の中で、安全性、コスト等産業として農業に与えられた課題と併せ、畜産基盤の更なる確立を図るためには、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成と経営管理能力及び高度な生産技術の向上が不可欠と考えられますので、関係者の力を結集し諸課題に取り組まなければならないと思っております。

本会も微力ではありますが、畜産が本県農業の基幹部門として一層の発展を図るため、畜産経営診断事業による経営の安定、データベース事業による情報の収集、提供、簡易診断、地域養豚振興特別対策事業等巾広い事業を展開して参る所存でありますので何卒よろしくご支援ご協力賜りたくお願い申し上げます。

新年を迎えるに当り皆様方のご多幸と益々のご発展をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。



来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タック

- 本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号 電話 022-225-7338(代)
- 仙台(営) 〒987 遠田郡小牛田町開線字館野28番 電話 0229-34-2018(代)
- 古川(営) 〒960 福島市矢剱町22番5号 電話 0245-36-2815(代)
- 福島(営) 〒962 須賀川市卸町3番 電話 0248-76-5177(代)
- 須賀川(営)

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連

年頭のごあいさつ



宮城県知事 浅野 史郎

明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

みやぎの地域づくりは県民すべての未来に夢を持つことから始まります。私は「夢航路 未来号」のキャッチフレーズのもと県民一人ひとりがこの宮城の地に住んで良かったと実感できる地域づくりに取り組み、この夢の実現に向けて誠心誠意努めてまいりました。

昨年は、厳しい行政状況の中、二十一世紀への確かな道筋を着実に歩んだ年でありました。

さて、農業をめぐる情勢は、ウルグアイ・ラウンド農業合意に伴う国際化の進展など、大きな転換の時期を迎えており、畜産をめぐる環境も、平成3年4月の牛肉の輸入自由化、平成7年4月からは乳製品の関税化や畜産物の関税率引き下げが実施され、新たな国際環境に対応した経営の体質強化が求められています。

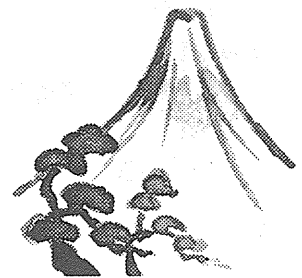
このように、農業をとりまく情勢は新たな局面を迎えておりますが、農業・農村は県民への食料の安定供給はもとより、地域社会の維持、県土や自然環境の保全など、その果たす役割は今後一層重要になっていくものと考えられます。

今後、県といたしましては、新たな国際化の動向にも対応しうる農業生産構造の実現と快適で活力に満ちた農村の創造を推進するとともに、地域の密接な連携のもとで農業者の創意と工夫に満ちた取り組みを基礎に稲作、畜産、園芸の均衡のとれた生産構造を確立することによって「魅力あふれる宮城の農

業」を展開してまいりたいと考えております。

特に畜産においては、「新たな国際化に対応した畜産の展開」をスローガンに掲げ、21世紀に向けて自立と持続的な発展が図られるような畜産の確立に努めてまいりたいと考えております。そのため、県では畜産農家が自らの経営に意欲をもてるような将来方向を示し、牛乳、乳製品及び牛肉の安定供給と酪農及び肉用牛生産の健全な発展を推進するため、平成17年度を目標とする「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」を策定するとともに、家畜の改良方針となる「家畜改良増殖計画」を設定いたしました。この計画の実現に向け、市町村、農家の方々と一体となって種々の施策に取り組みたいと思っておりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

年頭に当たり、県民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。



<p>正統の育ちと味</p>  <p>仙台牛銘柄推進協議会</p> <p>仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50</p>	<p>WORLD チャンピオン</p>  <p>株式会社 五十嵐商会</p> <p>仙台市若林区卸町五丁目1番地4 電話(022)236-2525(代表)</p>	<p>クスリの総合卸</p> <p>EISHIN 株式会社 エーシン</p> <p>取締役会長 山田 修 造 取締役社長 竹下 正 則</p> <p>本 社 〒980 仙台市青葉区木町通一丁目5-20 ☎022(267)7211 事業本部 〒984 仙台市若林区卸町二丁目10-3 ☎022(284)8111 古川営業所 〒989-01 古川市福浦字道のの上137-1 ☎0223(24)1211</p>
--	---	---

優秀農林水産業者の表彰について

宮城県畜産課

平成8年11月23日、皇居及び明治神宮会館において、平成8年度(第35回)農林水産祭表彰式典が開催されました。

式典では、農林水産大臣をはじめ各界代表者、中央、地方農林水産関係者の出席を得て、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の授与が行われました。本県畜産関係では、次の方々が栄ある賞を受賞されました。心からお喜び申し上げますとともに、ますますの御発展をお祈り致します。

表彰事業名	品目	市町村	授賞者
平成7年度酪農経営コンクール	乳用牛	丸森町	半沢 一良
第25回東北六県北海道連合肉牛共進会	肉用牛	名取市	高橋 勇市
平成7年度宮城県総合畜産共進会	乳用牛	河北町	鈴木 富康
	肉用牛	南郷町	南郷町和牛改良組合
第35回仙台牛枝肉共進会	肉豚	迫 町	但木 修
	牛枝肉	登米町	清野昭十郎
第24回全畜連肉用牛枝肉共進会	牛枝肉	鳴子町	小川 秀雄
		角田市	高野泰次郎

(家畜改良係長 黒須 敏夫)

平成8年度宮城県農業コンクール 地域農業賞受賞者の概要

宮城県農政部経営経済課

●志波姫町 佐藤弘毅・一美夫妻

佐藤さんの経営は肥育牛+水稻の複合経営です。肥育は黒毛和種去勢39頭を飼養しています。

昭和51年3月に宮城県農業短期大学を卒業と同時に就農し、肥育牛部門を開始しました。順次規模拡大を図り、町内でも有数の飼養規模となっています。

また、枝肉に対する評価は非常に高く、枝肉成績も常に上位に位置しております。ちなみに、A5率は、ここ数年50%前後で推移しており、枝肉単価はkgあたり平均2,000円前後と比較的高価で販売する等、高度な肥育技術を兼ね備えています。

これらの実績により、「JA志波姫肥育牛部会副部長」等を歴任し、現在では志波姫町を代表する肥育牛生産者です。

稲作についても畜産部門と同様に「JA志波姫稲作研究会副会長」を経験し、地域稲作のリーダー的存在となっており、食味向上を追求する栽培方法の研究に余念がありません。

稲作の作付け面積は借入地280aを含めて860aです。その一部を「有機特別栽培米」として栽培しています。特栽培米については6人でグループを作り、個別宅配を中心に販売していますが、農協に事務局をお願いし密接な活動を行っています。

また、宮城県青年農業士の経験を持ち、地域の農業者に対する指導等に力を入れる共に、農業実践大学校等の学生の研修受け入れなど、農業後継者の育成にも尽力しております。

結婚と同時に経営を全部任せられ、若くから経営者として、農業に対する意欲は人一倍持っておられます。

(農業経営係長 清和田 久義)

畜産の健康と未来に貢献する
獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所 橋手営業所 酒田営業所 帯広営業所
盛岡営業所 青森営業所 福島営業所 宮城衛生食品
大船渡営業所 八戸営業所 旭川営業所 検査センター
大館営業所 山形営業所 札幌営業所

畜産振興の明日を
担う地方競馬




地方競馬全国協会

STAR STAR-農業機械

マニュアルスプレッド

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクローラー)

STAR-農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

盛会!!みやぎの環境保全型農業を考えるシンポジウム

宮城県畜産課

11月19日に仙台市を会場に、平成7年に引き続き「宮城の環境保全型農業を考えるシンポジウム」を開催しました。今回は畜産環境整備リース事業で馴染みの深い(財)畜産環境整備機構の協力を得て開催しています。

今年は「堆きゅう肥の積極的活用と土づくり」をテーマに、県内を中心に東北各県より約200人の参加がありました。



講師 菅野祥孝氏

まずはじめにスガノ農機(株)の菅野祥孝氏に、「積年良土」というテーマで講演をいただきました。

化成肥料全盛のなか土づくりの大切さを強調され、

- ① 脱売上思考, 挑む収益思考
- ② 脱化学肥料万能, 挑む緑肥作物導入
- ③ 脱土壌消毒, 挑む生態系連携
- ④ 脱過粉碎, 挑む耐水性団粒
- ⑤ 脱収奪・荒廃, 挑む生命産業

という内容でした。

また、(財)畜産環境整備機構からリース事業についてのPRがありました。

午後からコーディネーターに東北大学農学部の伊藤房雄先生をお迎えし、「堆きゅう肥の積極的活用の条件整備」というテーマでパネルディスカッションが行われました。

パネラーには中田堆肥生産組合の狩野茂司氏、南方町の青年農業士の阿部善文氏、山形県立川町堆肥センターの菅原昭治氏、農業センターの齋藤公雄氏から、畜産農家、稲作農家、行政機関、試験研究のそれぞれの立場から「堆きゅう肥」の活用について発表していただきました。

特に山形県立川町の事例は、町が生ゴミの処理に畜ふんを活用し、その堆きゅう肥を町内の水田に還元しています。さらに堆きゅう肥散布の労力を確保できない場合、請負組織が散布を低料金で代行するサービスがあり、注目を集めるものでした。



パネルディスカッションのようす

(草地環境整備係 大友一博)

第5回「仙台牛の集い」開催報告

宮城県経済連

11月25日、ホテル仙台プラザで、県・主産指定農家・農協・指定小売地域代表者（東北・関東・中京）食肉流通業者・卸売市場関係者・消費者団体代表者・報道関係者、など300人が参加し、「仙台牛の集い」第1部・講演会、第2部・表彰式並びに最高級牛仙台牛特別賞味会が仙台牛銘柄推進協議会の主催で開催しました。

これは生産者と消費者の交流会「仙台牛の集い」を通し、高級仙台牛の消費拡大を勧め、仙台牛の銘柄普及拡大を図ることを目的としたもので、第一部は生産者、農協関係者などを対象に午後1時30分か

ら、澤明農学博士（JA全農東京支所畜産部養牛課審査役）を講師に演題「肥育牛生産における最先端技術について」講演が行われた後、第2部に入り、「仙台牛」優良小売店、提供店、指定農協、指定農家並びに農林水産祭参加「第36回仙台牛枝肉共進会」上位入賞牛購買者、上位入賞者へ賞状賞品の授与が行われました。

続いて、専門シェフによる調理で高級仙台牛の特別賞味会に入り、参加された皆さんは、本場仙台牛の美味しさを満喫していました。

（食肉販売課長 後藤 洋一）

経営改善指導指標

8 経営類型がそろいました！ シリーズ（B5, B4セット）

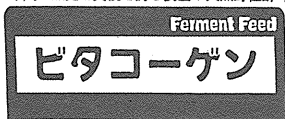
○耕地依存型酪農経営 ¥2,800 円380	○草地依存型酪農経営 ¥2,800 円380
○肉専用種繁殖経営 ¥2,800 円380	○肉専用種肥育経営 ¥2,800 円380
○養豚一貫経営 ¥2,800 円380	○乳用去勢牛肥育経営 ¥2,800 円380
○養鶏採卵・一貫経営 ¥4,000 円380	○ブロイラー経営 ¥3,000 円380

（税とも）

→お申込みは

宮城県畜産会 〒981-12 名取市増田字柳田379-1 TEL 022-382-8133
FAX 022-382-8135

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。
35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
株式会社セイワ東北営業所
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190



ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 吉川市新田字泉通敷59-4
☎989-61 TEL (0229)26-4330



動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩



日本全薬工業株式会社

第11回ヘルシーセミナーの 開催について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

宮城県生乳販連では来る平成9年1月29日(水)に第11回ヘルシーセミナーを開催します。

このセミナーは一般消費者の理解のもとに、会員各位並びに乳業メーカー等の協力のもとに開催され、地域に密着したイベントとして定着しております。

本セミナーは、一般消費者に対する数少ない情報提供の場であり、又酪農ディスカッションは生産者の立場を理解してもらい、正しい牛乳の知識普及を行なう重要なポイントとなっております。

本年度の講演は、前琉球大学医学部教授の松崎俊久先生に「長寿と活性あふれる老後のために」の演題で講演していただきますが、松崎先生は今回で3回目になります。骨粗鬆症の話では第一人者ですので、是非お話を伺いいただき地域での活動に生かしていただきたいと思っております。

尚、ゲストには国産飲用乳消費拡大推進協議会委員になっております女優の浜美枝さんをお呼びしてあります。

又、その他のイベントとしまして乳業メーカーによる牛乳乳製品の即売会、試食試飲会、牛乳乳製品の料理試食コーナー、骨密度測定コーナー、そしてお楽しみ抽選会等盛り山な内容となっておりますので、是非皆さんお誘い合わせの上で参加下さるようお願い申し上げます。(販売課長 武田良介)
※参加申し込み方法に対する詳しいお問い合わせは下記までお願いします。

宮城県生乳販連「ヘルシーセミナー」係
022-224-1784
担当 村田、永浦

「畜産学部卒業論文発表会」 開催報告

農業実践大学校畜産学部学習委員

去る1月17日、宮城県畜産試験場において、私たち畜産学部学生の卒業論文発表会が開催されました。

当発表会は、私たち学生が乳牛、肉牛、豚、受精卵移植、草地飼料と各専攻毎に課題を決めて、畜産試験場の先生の指導のもとに、1年間取り組んでまとめた結果を発表したものです。当日は試験場の先生方をはじめ関係企業の方々、高校の先生方、生徒さん等多くの皆様のご来場を得て盛況のうちに終了いたしました。また、審査員の先生方のご指導を受け、新たな展開の基とすることが出来ました。

全16課題発表のうち、優秀賞には門間恵さん発表の「酪農ヘルパー利用農家の実態調査」。優良賞には澁谷善久君発表の「回分式活性汚泥法により処理した畜舎汚水のろ過による窒素・リンの除去」、千葉義文君発表の「凍結精液の融解時の温度がその後の精子の生存性に及ぼす影響」、柴田敬蔵君発表の「CIDRで処置した牛における発情発見状況」。奨励賞には長井稔君発表の「車の騒音及びクラシック音が乳牛の生産性に及ぼす影響」が選ばれました。

「酪農ヘルパー利用農家の実態調査」は、ヘルパー利用農家を対象に利用状況等についての訪問アンケートを行い、ヘルパー依頼時の理由やどのような仕事をしてもらっているか、今後の利用の意向はどうかなどまとめたものです。

最後になりましたが、ご指導いただいた先生方、ご来場いただいた皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。



TCM東洋運搬機

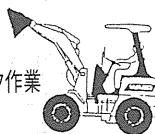


糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社
983 仙台市宮城野区中野字兼135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

動物用
医薬品 (牛専用)

トルラミックS

特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3211(代)

<畜試便り>

豚の低蛋白質飼料給与による糞尿中窒素低減化試験

宮城県畜産試験場

家畜の糞尿処理法として、排泄物の微生物処理による方法の他に、飼養管理により排泄量そのものを低減させる技術が考えられます。本試験ではアミノ酸のうちリジンとトレオニンの必要量を満たした低蛋白質飼料を給与し、糞および尿中の窒素量がどの程度減少するかを窒素出納試験により実施しました。

供試豚はデュロック種去勢雄3頭で試験供試時体重は45.1kg～47.1kgです。給与した飼料は対照区として肥育前期用飼料（粗蛋白質16%）、低蛋白質区として、粗蛋白質含量12%と10%の飼料にリジンとトレオニンをそれぞれ必要量添加した飼料の3種類です。3頭の豚について、それぞれ3種類の飼料を給与する3×3ラテン方格法に基づき試験を行い、飼料は不断給与しました。予備飼育後の本試験の期間は3回の試験でいずれも4日間とし、全糞採取法により消化試験を実施しました。糞は各個体ごとに一日分ずつ集め、各個体ごとに4日間の乾燥糞と一緒にプールし、粉碎してからサンプルを取って分析に供試しました。尿は各個体ごとに一日分ずつ集め、尿量を測ってからサンプルを取って冷凍し、4日間のサンプルをプールして分析に供試しました。

結果を表に示しました。給与した飼料の粗蛋白質含量は設計量をやや上回りそれぞれ12.71%、11.05%、17.41%でした。一日当たり粗蛋白質、窒素摂取量はⅢ区がⅠ、Ⅱ区より有意に多く、また、総飲水量と一日当たり飲水量もⅢ区がⅠ、Ⅱ区より有意に多かった。Ⅲ区に比べⅠ、Ⅱ区の飲水量はそれぞれ27.1%、17.0%減少し、飼料の低蛋白質化が飲水量を減らす効果のあることが明らかとなりました。一日当たり乾燥糞量、糞中蛋白質、窒素含量はいずれもⅢ区がⅠ、Ⅱ区より高い傾向を示したがいずれも有意な差ではありませんでした。一方、尿についてみると総排泄尿量及び一日当たり尿排泄量はⅢ区がⅠ、Ⅱ区より統計的に有意でないものの高い値を示しました。そして、一日当たり尿中粗蛋白質はⅢ区がⅠ、Ⅱ区より有意に高かった。尿中窒素排泄量でみるとⅢ区の35.0g/dayに対し、Ⅰ、Ⅱ区はそれぞれ16.1g/day、14.4g/dayとそれぞれⅢ区の46%、41.1%とかなり少ないことがわかりました。糞と尿中窒素を合計した一日当たり総窒素排泄量ではⅢ区の54.0gに対し、Ⅰ、Ⅱ区はそれぞれ32.0g、30.2gであり、Ⅲ区の59.2%、56.2%にあたり約4割も少ない結果でした。

以上、本試験の結果、アミノ酸バランスを考慮した低蛋白質飼料給与により、豚の飲水量を減少させ、糞尿中の窒素も減少させることが明らかとなりました。現在、本試験で飼養した飼料を肉豚に給与し、発育、産肉面での影響を調査しています。これらの試験の結果と合わせて、低蛋白質飼料給与法が環境面、肥育面といずれでも優れた飼養管理技術として有効かどうか総合的に検討する予定です。

畜産試験場研修員

徐 春 城

表1. 一日当たり飼料摂取量、飲水量、糞、尿および窒素排泄量の比較

	頭数	I区	II区	III区
		低蛋白質(12%)	低蛋白質(10%)	高蛋白質(16%)
飼料中蛋白質含量 %	3	12.71	11.05	17.41
一日当飼料摂取量 kg/day	3	3.04	3.16	2.88
粗蛋白質摂取量 g/day	3	386.6	349.2	501.3
窒素摂取量 g/day	3	61.8	55.9	80.3
総飲水量 kg	3	17.1	19.7	23.9
一日当飲水量 kg/day	3	4.3	4.9	5.9
一日当乾燥糞排泄量 g/day	3	424	457	525
糞中蛋白質量 g/day	3	99.2	98.9	118.5
糞中窒素量 g/day	3	15.9	15.8	19.0
総尿排泄量 kg	3	5.10	5.49	11.79
一日当尿排泄量 kg/day	3	1.28	1.37	2.95
尿中蛋白質量 g/day	3	100.7	90.1	218.7
尿中窒素量 g/day	3	16.1	14.4	35.0
全蛋白質排泄量 g/day	3	199.8	188.9	337.2
全窒素排泄量 g/day	3	32.0	30.2	54.0
糞水分排泄量 kg/day	3	1.33	1.46	1.48
尿水分排泄量 kg/day	3	1.28	1.37	2.95
水分排泄量 kg/day	3	2.61	2.84	4.43

列間の異なる文字間で有意差（5%水準）あり。

<衛生便り>

豚のサルモネラ症

仙台家畜保健衛生所

本症は、豚で急性敗血症や急・慢性下痢をみる伝染病で、人に対しても敗血症や急性胃腸炎を引き起こす人畜共通伝染病です。日本では、飼養頭数の増加と環境汚染の拡大に伴い1970年頃から増加していますが、発生頻度は低いです。しかし、不顕性感染豚が多いため、食肉汚染源となることがあります。

豚における臨床症状は以下の2つのタイプに分けられます。

急性敗血症型は、主に豚コレラ菌、豚チフス菌による感染です。4ヵ月齢までの幼豚に多発し、経口的に侵入した菌が全身に広がり、突然に発熱、食欲不振、呼吸速迫、耳や四肢等に紫斑を形成し1~2日の経過で死亡します。発病率は10%以上、致死率は数%~40%です。

下痢症型は、ネズミチフス菌が主な原因です。離乳後の幼豚が慢性の水様性黄色悪臭下痢、発熱、嘔吐、食欲不振、被毛失沢ときには発咳などの呼吸器症状も示します。重症例では脱水症状を伴い死亡することもあります。一般に致死率は低いです。

これらの症状と同様の臨床症状を示す他の疾病に豚コレラ、豚丹毒、大腸菌症、パスツレラ症、急性中毒等があり類症鑑別が必要です。

予防は、発症豚および保菌豚の排泄物や媒介動物との接触により感染するので、消毒等による畜舎の清浄化や媒介動物の駆除に努めることが大事です。英国では生菌ワクチンが使用されています。

治療方法としては、抗菌性物質の投与があります。しかし、投与することで症状は好転しますが、保菌豚となることがあります。また、長期にわたり抗菌性物質を投与すると原因菌が薬剤耐性を獲得する危険性もあるため投与方法については注意が必要です。

(病性鑑定課 大久範幸)

抱負



宮城県農業公社

白石牧場研修生

小野寺 康文

研修生として本年度から宮城県農業公社白石牧場に配属されてから、早くも一年が経とうとしています。

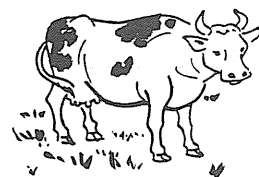
私は農業実践大学校畜産学部を卒業し、畜産に関する知識をある程度は身につけてきたつもりではいましたが、実際こうして働いてみると、まだまだ自分がどれだけ未熟で勉強不足だったのか思い知らされるのが毎日の様にあり、職員の方々には色々迷惑をかけてはいますが、私なりに一生懸命やっているつもりです。



現在、当牧場で600頭余りの牛の世話をしている訳であります。ここでの仕事はただ牛に餌を与えるだけでなく、牛の治療、また、そうならない為の最善の衛生管理、農業機械の操作や整備などを重点的に行っており、私の夢でもある肥育と繁殖の一貫経営には欠かせない技術や知識を最も学べる場所ではないかと確信しています。

その為にも、今まで学んできたことは勿論これからの仕事も一日一日を大切にしながら熟していき、どんな状況でも素速く対応が出来る様に必要なこと全て身に付けたいと思っています。

最後に宮城県農業公社では畜産についてもっと勉強してみたいと思っている方々の為に研修制度を設けていますので、是非働いてみて下さい。

まだまだ半人前の私ですが、夢を実現させる為にも精一杯努力いたしますので、皆様今後ともよろしくお願いします。



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
 動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷
 本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL.883121
 山形店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL.883121
 仙台店 仙台市太白区羽黒台31-14 16 TEL.2494306
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL.240963

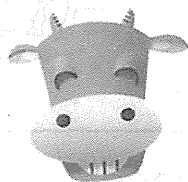
飼料は  **まるきた印**
 採卵鶏用配合飼料 肉牛用配合飼料
 プロイラー配合飼料 乳牛用配合飼料
北日本飼料株式会社
 石巻市川口町3丁目2番8号
 TEL石巻 0225 (22) 6111
 FAX石巻 0225 (22) 6116

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。
ビヒダス
ヨーグルト 500ml
 宮酪乳業株式会社 名取市坂野城五丁目1番3号
 ☎ (022) 384-5181

賀 春

宮城県農業協同組合中央会長
 宮城県経済農業協同組合連合会長
 宮城県信用農業協同組合連合会長
 宮城県農業共済組合連合会長
 宮城県生乳販売農業協同組合連合会長
 宮城県農業公社理事長
 宮城県草地協会会長
 宮城県獣医師協会会長
 宮城県酪農協会会長
 宮城県ホルスタイン協会会長
 宮城県軽種馬協会会長
 宮城県養豚協会会長
 全国和牛登録協会宮城県支部長
 宮城県肉用牛協会会長
 宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長
 宮城県牛乳協会会長
 宮城県家畜商協同組合理事長
 宮城県養鶏協会会長
 宮城県ホルスタイン改良同志会長
 宮城県家畜人工受精師協会会長
 宮城県肉用牛価格安定基金協会会長
 宮城県牛乳普及協会会長
 宮城県畜産会会長

駒口 盛
 駒口 盛
 駒口 盛
 加藤 秀市
 佐々木 三郎
 西城 光政
 三浦 弘彰
 鈴木 新
 佐々木 三郎
 三浦 誉夫
 大石 正光
 千葉 清治
 佐藤 利吉
 木村 春雄
 菅原 郁夫
 梶谷 和明
 佐藤 重四
 岩谷 寿夫
 及川 富男
 野地 昭二
 寺島 英毅
 佐々木 三郎
 大堀 哲



肉の日

毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり
 肉となる、たいせつなタンパク源。
 ビタミン、ミネラルも豊富な、
 たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-12 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133